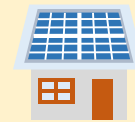




神戸市地球温暖化防止実行計画

— KOBE ゼロカーボン・チャレンジプラン — (計画期間：2022～2035年度)

(概要版)



1. 背景

・地球温暖化対策をめぐる動き

気候変動

国内外で平均気温の上昇や大雨等が観測

神戸市でも・・・

平均気温が100年で1.5℃上昇



世界

パリ協定 (2015年)

世界の平均気温の上昇を2℃より十分下回ること、1.5℃に抑える努力を継続

日本

2050年カーボンニュートラル宣言 (2020年)

温室効果ガス排出量から、植物等による吸収量を差し引いて実質的にゼロに！

神戸市

2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言 (2020年12月)

日本

地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画の改定 (2025年2月)

神戸市

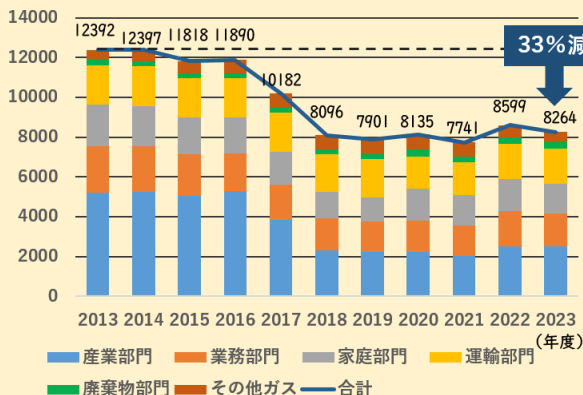
脱炭素と経済成長の同時実現に向け、本計画を改定

・改定のポイント

- 2035・40年度の目標設定
- 取組ごとの削減見込量を明示
- 市民・事業者が取り組みやすいよう「環境行動ガイド」を掲載

・市域における温室効果ガス排出量の推移

(千トン-CO₂)



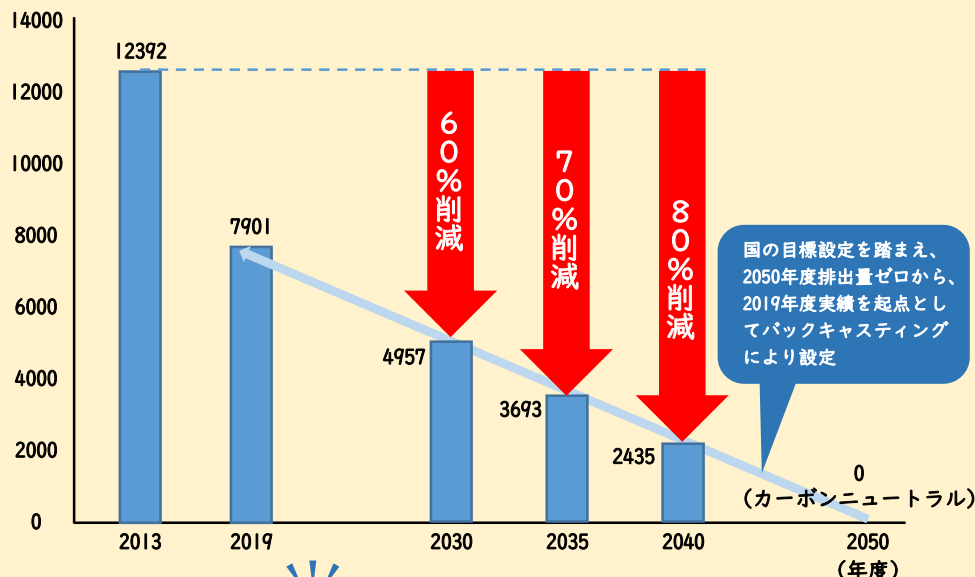
<減少要因>

- ・ 市民・事業者の省エネの取組によるエネルギー消費量の減少
- ・ 電力の二酸化炭素排出係数の低下

2. 目標

・温室効果ガス削減目標

(千トン)



目標達成に向けたポイント

1. 脱炭素型ライフスタイルへの転換
 2. 産業の脱炭素化の促進
 3. クリーンエネルギーの利用促進 (再生可能エネルギー、水素、電動車)
 4. 二酸化炭素の吸収・固定
- ※詳しい取組内容は裏面参照

・再生可能エネルギー導入目標

実績 (2023年度)

332MW

2030年度

500MW

2035年度

550MW

2040年度

630MW

ポイント

- 導入ポテンシャルが最も大きい太陽光発電を中心に、建物屋上や駐車場などへの導入を促進
- ペロブスカイト太陽電池をはじめとする次世代型太陽電池については、将来的な普及を見据えた取組を推進

カーボンニュートラルの実現に向けた取組

市民と事業者、行政が一体となって、積極的に脱炭素につながる取組を行いましょう！

1. 脱炭素型ライフスタイルへの転換

・市民への意識醸成と行動変容の促進

KOBEゼロカーボン支援補助金の実施

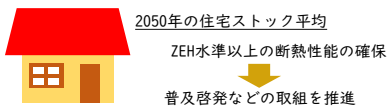


・資源循環の取組

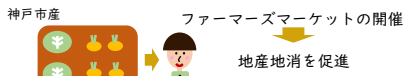


・暮らしに関する取組

住宅の省エネ性能の向上の促進



・食に関する取組



・移動の取組

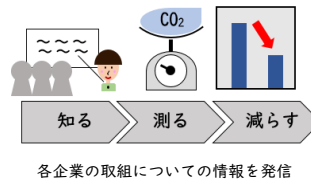


▲446千t-CO₂ 住宅の省エネ化

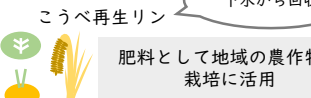
2. 産業の脱炭素化の促進

・脱炭素経営導入支援

中小企業向けの脱炭素経営導入支援



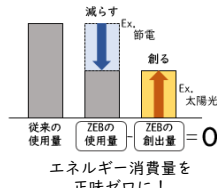
・先端技術への支援



▲194千t-CO₂ 建築物の省エネ化、高効率な省エネ機器の普及

・建築物の省エネルギー化

ZEBの新築 建築物の省エネ改修



メリットや支援制度を情報発信

▲246千t-CO₂ 電動車の普及、燃費の改善

・電動車の普及促進

- 電動車導入に係る補助
- 充電インフラの推進



- 電動車導入に係る普及啓発 試乗できるイベントの実施 外部給電・神戸モデルの紹介

- 公用車への電動車の導入 乗用車は2030年度までに 電動車100%

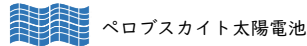
3. クリーンエネルギーの利用促進

2030年度市域導入目標 500MW

・再生可能エネルギーの拡大

- 太陽光発電の推進
- ・市民への導入推進 太陽光パネル・蓄電池の共同購入を 近隣府県市と連携して実施

・次世代太陽電池の導入促進



・事業者への導入推進

脱炭素先行地域（ポートアイランド）



活用

導入ポテンシャルの高いエリアへ波及 再エネ導入を促進

➢ バイオマス発電の推進

- ・下水処理場でのバイオマス 下水処理の汚泥を活用し、ガスを精製
- ・クリーンセンターでのバイオマス 燃料に可燃ごみを利用する「ごみ発電」の実施

➢ 未利用エネルギーの推進

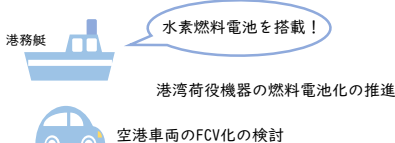
- 千苺浄水場での小水力発電
- 六甲山の高低差を活かした小水力発電

・水素エネルギーの利用促進

- 水素の普及拡大に向けた実証・研究開発支援 研究に取り組む市内中小企業への支援
- モビリティ分野における利用拡大 乗用車や商用車（バスやトラック）の導入支援



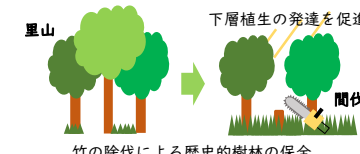
➢ 港湾・空港エリアでの水素利活用の促進



4. 二酸化炭素の吸収・固定

・森林による吸収源対策

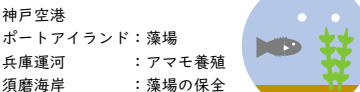
- 森林整備戦略に基づく市内の森林管理



- 自然共生サイトなどにおける里山林の再生



・海域の吸収・固定対策（ブルーカーボン事業）



ブルーカーボンクレジット制度の活用

ブルーカーボン生態系となる藻場の拡大を目指す

海域の環境保全等に取り組む市民団体等の活動支援 ポテンシャルマップの活用や専門家の派遣を実施

・神戸市役所における温室効果ガス削減目標（2013年度比）

	2024年度実績	2030年度	2035年度	2040年度
エネルギー起源	214千トン	60%削減	70%削減	80%削減
非エネルギー起源	313千トン	20%削減	44%削減	59%削減

エネルギー起源

化石燃料を燃焼して作られたエネルギーの利用によって生じるもの

非エネルギー起源

市民生活等から排出される廃棄物や下水処理等から生じるもの

・適応策 ～気候変動による悪影響を最小限に抑える施策～

